

第6回議会改革検討会議要旨

平成29年3月10日（金）
午前10時00分 委員会室
（総務消防委員会終了後）

（開議10：00）

1 あいさつ

委員長

2 議 題

（1）議会基本条例とPDCAサイクルについて 丸山隆弘委員

※議会改革度調査2015調査概要（早稲田大学マニフェスト研究所）から引用抜粋

- ・議会基本条例の制定
2015年：全国651議会、46%
- ・実行計画の有無とその種類
議会基本条例を実行計画に具体化している議会は 2%、
条例とは別に計画を作成している議会は 3%
新城市議会は実施計画なし
- ・検証の実施
議会基本条例を制定している議会のうち検証をしている議会は 2割程度
- ・議会基本条例の評価の大半が自己評価
自己評価 21%、第3者評価2%、市民評価1%
- ・評価の公開
自己評価をしている議会のうちweb公開は39%
評価例：所沢市議会
憲章の取組公開例：若芽町議会、上越市議会、堺市議会等
- ・所沢市議会基本条例

《各委員の意見》

- ・PDCAは、膨大な資料となるため2年に1回でよいのでは。
- ・PDCA 先ずやってみなければ見直しできない。新鮮な意見2年ごと賛成。やってみないとわからない。
- ・条例を腹に落とし自己評価・自己理解必要。市民評価・市民理解には広報広聴が大事。
- ・個人評価・議会評価が大事検証を入れ込むことが大事。
- ・基本条例は4年かけて制定してきたが評価をしてこなかった。評価をして一步一步進んでいけばより良くなる。
- ・Pから腹に落とさないため。共通認識を持たなければ。3年半経ってこんな話してはいけない。
- ・所沢市議会は議会改革・視察受入れしっかりしている。議会改革も外から見られること大切。
- ・今回のPDCA・基本条例の活用大事。PDCAはやらないとダメ。基本条例1条からきちっと確かめること大事。
- ・江藤先生も言われていたが、議会基本条例に対する「態度」、その後の「政策」が必要。

- ・やったかやらなかったかの検証が必要。やっていなければ「なぜやらなかったのか」、やったならば「よりよくするには」
- ・新人議員には、会派制があったときは会派で教え、廃止してからは委員会で補うこととなっていたが不十分だった。
- ・市民の声が必要なためモニター制度を設けるべきだった。
- ・見直しは1年ごとにやらないとダメ。
- ・政策提言のやり方、議会サポーター制度。（飯綱町の情報提供）
- ・市民の声・専門知識から拾う。
等

(2) その他

検討会議の開催について

次回：3月15日（水）午前9時～（滝川委員）

次々回：3月24日（木）午前10時～（達雄委員）

(閉会：11:40)

閉会后

議会改革検討会議の録画について